

『小値賀島の主要な観光地へのアクセスの快適化』

概要

小値賀島の主幹産業は観光業であり、国内外を問わず多くの観光客が毎年訪れている。島を訪れた観光客を対象にアンケートを実施したところ、観光地までの道順がわからないという声が数多く挙がった。観光業の活性化を阻害する課題だと感じた私たちは、観光地までの道順を解説した動画を制作した。しかし、取り組みとしては十分ではないため、今後、動画の本数増加・多様な言語への対応・QRコード化や観光マップ化など、観光ルート動画に関する取り組みの充実を図る提案をするに至った。実現することで、観光客の満足度の向上や、安全性の確保、小値賀島のPRなど多様な効果が得られると考えている。この取り組みが人口減・高齢化著しい小値賀島の観光業の新たな活路を見いだすものになると期待している。

【提案】

『小値賀島の主要な観光地へのアクセスの快適化』

- ・ ルート動画の制作（道案内動画）
- ・ 観光マップ化
- ・ 多言語化、ピクトグラム等の配慮
- ・ QRコード化と観光地・休憩所等の各所への設置
- ・ 目的地の自由選択化

【経緯】

まず、小値賀島は長崎県五島列島に属する人口約2000人、全周30km程度の小さな島である。そして私たちは、その島内唯一の高校である北松西高等学校の71回生である（現2年生）。

小値賀島の主幹産業は、畜産と観光である。特に観光では、毎年2万人以上もの学生を国際修学旅行に送り出しているアメリカの国際交流財団、ピープル・トゥ・ピープルによる「PTP学生大使プロ

グラム」で、満足度世界1位に二度も選ばれており、日本だけでなく海外からの観光客も非常に多く訪れている。また、「日本で最も美しい村」への加盟、世界遺産の存在などが後押しとなり、観光客は飛躍的増加した。一時、コロナの影響で客足は落ち込んだものの、現在は回復傾向にある。

そこで、私たちは地域探究活動の一環として、観光活性を図るために、島内の主要な宿泊施設や、ターミナル（港）で観光客を対象にアンケートを実施した。（令和6年1月15日～3月13日）

アンケートの結果、国内外の観光客の多くの観光客が、島内各所に存在する観光地への行き方がわからずに苦労したということが明らかになった。これは、満足度の低下やリピーターの減少、口コミによる負のイメージの拡散など多くの問題につながりかねない事態である。事実、観光地への案内板等はほぼなく、観光地に向かうためには、大きく3つの方法しかない。1つ目は、主要道路を掲載した観光マップをターミナルで手に入れる方法、2つ目はインターネット上の地図を利用する方法、3つ目は動画サイト等で検索し、小値賀島の観光地を紹介した動画を見る方法である。

しかし、この3つには大きな欠点がある。1つ目の方法では、主要な道路のみの抽象化された地図では、道に迷う可能性が出てくることと、そもそも事前に把握していなければ、ターミナルで地図を手に入れることは難しい。2つ目の方法では、島内の各地で圏外となるため、インターネットに接続できないという問題がある。3つ目の方法は、2つ目と同様の問題があり、さらに、観光地の紹介動画であるため、その道順ではなく観光地の魅力についての説明が主となり、観光地までの正確なルートを知ることが難しい。

そこで、私たちは現在、ターミナルから主要観光地までのルート動画を制作中である。人口減少・高齢化が著しい小値賀で持続可能な取り組みとして、観光ルートの動画に辿り着いた。ただし、限られた時間と高校生という立場、資金面など幾つもの問題から、実現不可能なことも多い。そのような困難に向き合った際、私たちは「夢アイデア」をきっかけに実現に向かって動いている多くの提案があると知った。そこで、私たちの思いが実現するきっかけになるのではと考え、本提案をするに至った。

【活動について】

観光の要所であるターミナルから、3カ所の主要な観光地を結ぶ観光ルート動画を制作した（参考資料1）。今後、動画を増やしていき全5カ所程度の動画を制作する予定である。

しかし、島内には魅力ある観光地や国指定文化財などが数多く存在しており、小値賀町に属する野崎島には、世界文化遺産に登録された野崎島の集落跡が存在するが、それらを網羅する動画制作は、私たちには難しい。

動画は外国人観光客の方でも理解できるように、文字だけではなく、目印や記号を用いる工夫をした。

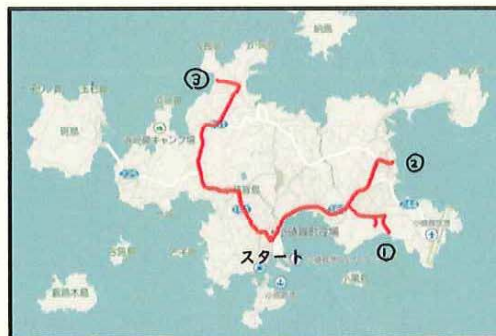
観光ルート動画を制作し終えた後は、役場やターミナルと交渉し、ホームページへの掲載を依頼する予定である。

また、観光ルート動画を観光マップ化し（参考資料2）、ターミナルや主要な宿泊施設に設置してもらう予定である。

長崎県立大学地域連携センターに所属し、離島の課題解決を図る人材育成を目的とした「しまなび」プログラムに、長年携わってこられた先生に年3回ほど直接助言をいただき、取り組みの振り返りや修正を行ってきた。

（参考資料1）

- ① 赤浜海岸
- ② 地ノ神島神社
- ③ 五両だき



（参考資料2）

観光マップ案
三つ折りパンフレット



【提案（詳細）】

提案内容は5つある。

①「ルート動画の制作（道案内動画）」

島内の数多くの観光地や貴重な史跡を網羅した動画を制作する。
観光客のニーズに対応し、快適な旅を提供することが目的である。

観光地例

- ・小値賀町歴史民俗資料館
- ・姫の松原
- ・長崎鼻
- ・斑島玉石甌穴（史跡名勝天然記念物）
- ・旧野首教会（世界遺産）

②「多言語化、ピクトグラム等の配慮」

外国人観光客のニーズに対応できる多言語化をすすめる。

ピクトグラムによる言語によらない案内を実現する。

「外国人が外国人を呼ぶ島」として、20年間で外国人観光客が9倍に増えている現状に対応することが目的である。

③「観光マップ化」

動画を視聴できるQRコードを掲載した観光マップを制作し、ターミナルや主要な宿泊施設に設置し、入手できる機会や場所を増やす。また、観光マップで魅力ある観光地を一覧化することで、観光客は予定していなかった新たな観光地を知る機会となり、観光活性や小値賀島の魅力発信につながる。

④「QRコード化と観光地・休憩所等の各所への設置」

各地の観光地や休憩所にQRコードを設置し、次の目的地に向けたルートをもその場で検索できるようにする。

「目的地の自由選択化」

A地点からB地点に向かうだけといった、固定されたルートの案内

ではなく、A地点からC地点に向かうことや、B地点からA地点に行き、その後C地点に向かうなど、好きな目的地を選んで観光できるようにする。決められたルートではなく、目的地に着くたびに、次のルートを考え、観光客が好きな順に、好きな場所に周遊できるようにすることが目的である。そのためには、各QRコードの設置場所から、全てのQRコードの設置場所に向けたルート動画の制作が必要となる。

【効果】

- ・ ルート動画の制作（道案内動画）
- ・ 観光マップ化
- ・ 多言語化、ピクトグラム等の配慮
- ・ QRコード化と観光地・休憩所等の各所への設置
- ・ 目的地の自由選択化

上記の5つの提案の実現により、以下の効果が予想される。

《観光客目線》

- ・ 道順を把握することで安心できる
- ・ 安全な経路で観光地を巡ることができる
- ・ 船便の都合上、滞在時間が限られる中で、時間を有効活用できる
- ・ 新たな観光地を発見する機会が増える
- ・ 計画的な観光地巡りが可能となる
- ・ 外国人であっても充実した観光が可能になる

《小値賀島目線》

- ・ 外国人観光客であっても対応できる
- ・ 怪我や事故などの防止につながる
- ・ 動画の共有、発信によって小値賀島のPRとして活用できる
- ・ 高額な案内板の設置やメンテナンスが不要
- ・ 観光客の満足度向上

- ・ 小道や路地が多くても、アクセスが明確化するため、島民の住居空間への侵入、オーバーツーリズムを防止することができる
- ・ 人口が減少しても持続可能な効率的な運営
- ・ 道路等のインフラの整備の焦点化による、島の財政負担の減少
- ・ 観光客増加による島内の各種施設や商店の活性化
- ・ 観光をきっかけとした移住者の増加

【制作した観光ルート動画】 (サンプル画像)



添付資料 (CD-R) 六社神社前～赤浜公園・赤浜海岸 (4:09)